

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2020年7月31日から2021年2月25日 (当初、2030年7月26日)まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界新時代株式マザーファンド 世界の株式
当ファンドの運用方法	■ 構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資します。 ■ 企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価を行い、銘柄を選定します。 ■ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■ 設定来の1万口当たり分配金(税引前)累計額と1万口当たり基準価額との合計額が13,000円以上となった場合には、短期有価証券、短期金融商品等による安定運用に移行し、1ヵ月以内に繰上償還します。
組入制限	当ファンド ■ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界新時代株式マザーファンド ■ 株式への投資割合には制限を設けません。 ■ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■ 年1回(原則として7月26日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■ 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によって変更する場合があります。)</div>

世界新時代株式 ファンド (早期償還条項付) 【愛称:World Change】 【繰上償還 運用報告書(全体版)】

(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

第 **1** 期
償還日 2021年2月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年2月25日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
(設定日) 2020年7月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 2
(償還時) 1期(2021年2月25日)	(償還価額) 13,017.68	—	30.2	—	—	462

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		
(設定日) 2020年7月31日	円 10,000	% —	% —	% —
7月末	9,995	△ 0.1	5.5	—
8月末	10,484	4.8	92.3	3.0
9月末	10,239	2.4	94.8	2.8
10月末	10,342	3.4	88.7	2.6
11月末	10,965	9.7	96.6	2.2
12月末	11,406	14.1	92.8	1.7
2021年1月末	11,795	18.0	95.7	1.6
(償還時) 2021年2月25日	(償還価額) 13,017.68	30.2	—	—

※騰落率は設定日比です。

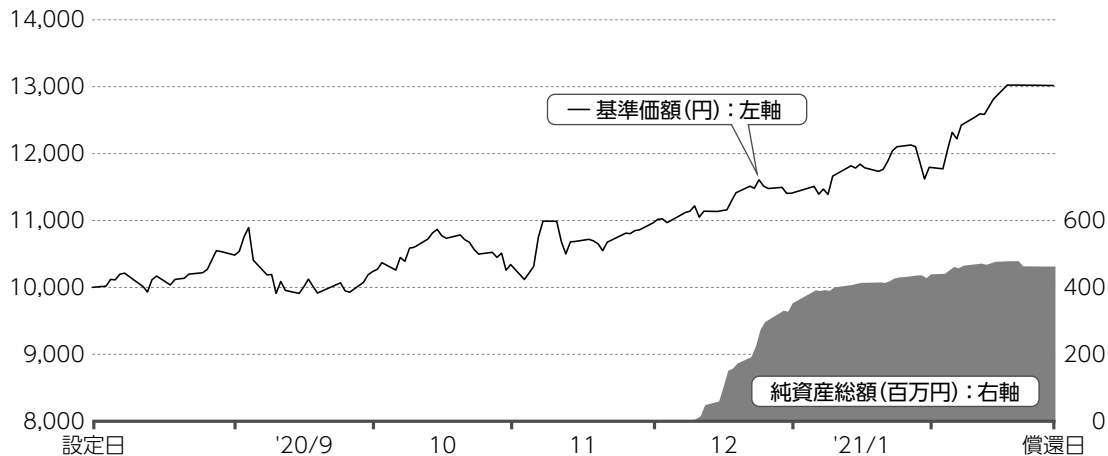
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

基準価額等の推移



設定日 10,000円

償還日 13,017円68銭

騰落率 +30.2%

基準価額の主な変動要因(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資を行いました。特に、ニューノーマル(新常態)への変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 設定当初から9月上旬まで、パンデミック(世界的大流行)化した新型コロナウイルス感染拡大に対する財政、金融政策対応を好感し、株式市場が大幅に上昇したこと
- 11月上旬から償還日にかけて、米国の政権交代による政策期待などから株式市場が上昇したこと
- 期を通してみれば、米ドルが対円で上昇したこと

下落要因

- 9月上旬から10月下旬にかけて、感染者数の増加による経済活動の持続性や米中関係に対する懸念により、株式市場が調整したこと

投資環境について（2020年7月31日から2021年2月25日まで）

当期の世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。

株式市場

世界同時に発生した新型コロナウイルスのパンデミックによる景気の急減速や株式市場の下落を経て、ファンド設定当初から償還日までの期間、経済活動回復の動きを探るとともに、株式市場もポストコロナ局面への移行を見据えて大幅に上昇しました。

各国政府は未曾有の危機に対して早期回復への確固たる意思表示と政策対応を行いました。多くの経済指標や企業の四半期決算について、4-6月期が景気の大底期であったとの認識が広まったこともあり、株式市場は設定当初から9月上旬まで上昇しました。その後、10月末にかけては、利益確定の売りに押されて市場は停滞する局面がありました。しかし、11月に米国大統領選挙でバイデン候補勝利の見通しが高まり、勝利確定も経て政局不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの実用化に向けての期待が高まったことから、株式市場は上昇基調を取り戻し、期末まで上昇基調で推移しました。

目に見えない新型コロナウイルスとの戦いが続く中で、世界はニューノーマルへと動き出しました。様々な分野においてデジタル技術を利用した企業活動や消費行動の変化がみられました。例えば、リモートワークの普及

でインターネットを活用したテレビ会議や電子署名を採用する企業が増えました。在宅時間の増加により、食材や日用品のデリバリーといったサービスやキャッシュレス決済などが私たちの日常生活に浸透しました。

株式市場もこうしたニューノーマルへの動きに呼応して、新技術や新商品を提供する関連企業が株式市場の上昇を主導しました。

当期の市場の動きをMSCIオールカントリーインデックス（配当込み、米ドルベース）で見ると、設定日に比べて23.3%上昇しました。

為替市場

期初から年末にかけて、世界的に経済活動が混乱する状況下で、米国の金融政策において量的緩和策が強化されたことによる低金利の長期化見通しなどから、米ドルは下落基調で推移しました。2021年に入ると、ワクチン普及期待や米国の景気回復期待から米国金利は上昇、米ドルも対円で期末まで上昇する動きとなりました。

当期の米ドル・円は設定日104円60銭から償還日106円06銭へと1円46銭の米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2020年7月31日から2021年2月25日まで）

当ファンド

基準価額が13,000円に到達した2月15日まで「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。その後償還までは、短期資産を中心とした安定運用を行いました。

世界新時代株式マザーファンド

世界経済のニューノーマルへの変化として、特に「ライフスタイルの変化」、「企業戦略の変化」、「医療・健康の変化」に注目し、この変化の過程で新しい価値を創造し、長期的に成長が見込まれる企業を厳選して投資を行いました。

ライフスタイルの変化では、eコマース（電子商取引）の浸透により成長率が高まる分野であるスーパーマーケットや教育等のオンライン化に着目しました。企業戦略の変化では、リモートワークの対応を受けたセキュリティ環境の整備の動きが強まるとの見方から、セキュリティ関連銘柄の買入れを進めました。

医療・健康の変化では、新型コロナウイルスといった新たな脅威へ対抗する持続的な取り組みとしてバイオ医薬品の開発や医療情報のデジタル化に注目しました。

個別銘柄については、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界において競争を勝ち抜く企業を買入れました。ライフスタイルの変化では、ネットスーパー事業を国内外で拡大しているイギリスのオカド・グループ、パートナー探しのオンライン事業で世界的に高いシェアを有する米国のマッチ・グループ、教育市場へのオンラインの浸透に着目し、中国の新東方教育科技などを買入れました。企業戦略の変化では、クラウドベースのセキュリティに着目し、米国のクラウド・ストライク・ホールディングスやオクタなどを買入れました。医療・健康の変化では、バイオ医薬品市場の拡大に着目し、フランスのザルトリウス・ステディム・バイオテック、医療のデジタル化に着目し、日本のエムスリーなどを買入れました。

ベンチマークとの差異について（2020年7月31日から2021年2月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年7月31日から2021年2月25日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	98円 (48) (48) (3)	0.911% (0.443) (0.443) (0.025)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	19 (19) (0)	0.173 (0.173) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	10 (10)	0.094 (0.094)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (3) (0) (0)	0.032 (0.029) (0.003) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	130	1.210	

期中の平均基準価額は10,746円です。

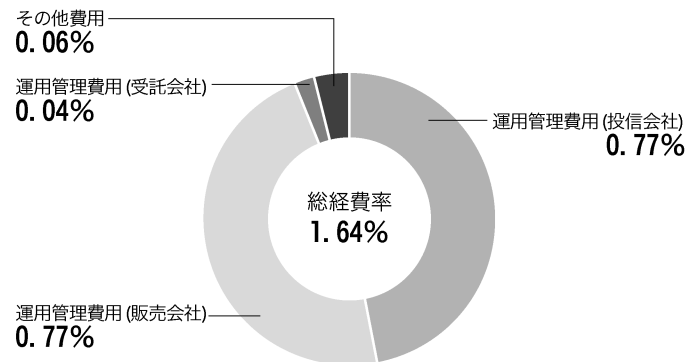
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.64%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 374,090	千円 427,870	千口 374,090	千円 490,605

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

項 目	当 期
	世界新時代株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	16,540,343千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,186,462千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.18

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

(1)利害関係人との取引状況

世界新時代株式ファンド（早期償還条項付）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

世界新時代株式マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 15,257	百万円 71	% 0.5	百万円 1,282	百万円 -	% -

※平均保有割合 2.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

世界新時代株式ファンド（早期償還条項付）【愛称：World Change】

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率
世界新時代株式ファンド（早期償還条項付）

項 目	当 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	183千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	0.337千円
(c) (b) / (a)	0.2%

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年7月31日から2021年2月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況(2020年7月31日から2021年2月25日まで)

期首残高 (元)	当期設定 元	当期解約 元	期末残高 (元)	取引の理由
百万円 2	百万円 -	百万円 2	百万円 -	当初設定時における取得等

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 組入れ資産の明細(2021年2月25日現在)

親投資信託残高

種 類	期 末
	口 数 評 価 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 - 千円 -

※世界新時代株式マザーファンドの期末の受益権総口数は13,047,547千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2021年2月25日現在)

項 目	期 末
	評 価 額 比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 463,132 % 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	463,132 100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2021年2月25日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	463,132,726円
コール・ローン等	463,132,726
(B) 負 債	544,789
未払信託報酬	543,584
未払利息	1,205
(C) 純資産総額 (A - B)	462,587,937
元 本	355,353,625
償 還 差 益 金	107,234,312
(D) 受 益 権 総 口 数	355,353,625口
1万口当たり償還価額 (C/D)	13,017円68銭

※当期における期首元本額2,000,000円、期中追加設定元本額376,962,606円、期中一部解約元本額23,608,981円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年7月31日 至2021年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,863円
支 払 利 息	△ 8,863
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	59,537,220
売 買 益	60,707,825
売 買 損	△ 1,170,605
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,263,417
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	58,264,940
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	48,969,372
(売 買 損 益 相 当 額)	(48,969,372)
償 還 差 益 金 (D + E)	107,234,312

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■ 投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2020年7月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年2月25日		資 産 総 額	463,132,726円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	544,789円
受 益 権 口 数	2,000,000口	355,353,625口	353,353,625口	純 資 産 総 額	462,587,937円
元 本 額	2,000,000円	355,353,625円	353,353,625円	受 益 権 口 数	355,353,625口
				1万口当たり償還金	13,017.68円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

世界新時代株式マザーファンド

信託期間	無期限（設定日：2020年7月31日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">■世界の取引所に上場している株式*の中から、主として構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する企業の株式に厳選して投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。※不動産投資信託（REIT）、DR（預託証書）等を含みます。■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価**を行い、銘柄を選定します。※※ESG評価に懸念のある銘柄は除外します。■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

世界新時代株式マザーファンドの第1期決算日は2021年7月26日のため、掲載すべき事項はございません。